

鳥取縣公報

縣令

鳥取縣令第十五號

昭和十六年六月鳥取縣令第三十一號砂糖配給統制規則施行細則中次のように改正し公布の日からこれを施行する。

昭和二十二年二月十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

第一條中「左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ」とあるを

「特別ノ事情アル場合ニ限リ」に改める。

第三條但書「中」軍用品」を削る。

第四條但書「中」軍用品」を削る。

鳥取縣令第十六號

左の縣令はこれを廢止する。

昭和二十二年二月十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

昭和二十二年二月十三日
第七百八十三號

水曜日

記

一、昭和十四年縣令第九號 自轉車タイヤサニウブ配給統制規則施行細則
一、昭和十七年同 第三十四號 企業許可令施行細則

告示

鳥取縣告示第四十七號

市街地建築物法施行細則第二十五條の規定により次のように假設建築物建築の件を許可した。

昭和二十二年二月十二日

鳥取縣知事 吉田 忠一

一、建築主の住所 米子市末廣町三番地

氏名 石原 友市郎

一、建築物の位置 米子市末廣町四一番地

一、建築物の用途 店 舖

鳥取縣告示 第十七百八十二號 昭和二十二年二月十二日 (第三種建築許可)

- 一、建築物の構造 米造瓦葺 平家建
- 二、建築物の規模 建築 面積 三六、四三九平方米 突出する部分 三五、八四〇平方米
- 三、命令事項

一、本建築物の存続期間は都市計畫事業実施迄とする
こと。

一、前號の事業實施の場合には事業者の實施する期日内に無償にて本建築物を除却しなければならぬ。

一、本建築物を他人へ譲渡したる場合は十日以内に届出ること。

一、知事必要ありと認むるときは本命令書の條項を増減若しくは變更することがある。

一、本建築物の譲渡を受けたる者も前各號に命したる事項を遵守する義務を負ふこと。

◇鳥取縣告示第四十八號
市街地建築物法施行細則第二十五條の規定により次のように假設建築物建築の件を許可した。

昭和二十二年二月十二日
鳥取縣知事 吉 田 忠 一

建築主の住所 鳥取市葦片原町海外引揚者農筋
生活共同組合

氏 名 組合長 豊 田 福 吉

一、建築物の位置 鳥取市葦片原町

一、建築物の用途 住宅兼店舗

一、建築物の構造 木造 瓦葺 二十一戸十三棟

一、建築物の規模 建築 面積 九八、五坪 突出せる部分 九八、五坪

一、命令事項

一、本建築物の存続期間は都市計畫事業実施迄とする
こと。

一、前號の事業實施の場合には事業者の實施する期日内に無償にて本建築物を除却しなければならぬ。

一、本建築物を他人へ譲渡したる場合は十日以内に届出ること。

一、知事必要ありと認むるときは本命令書の條項を増減若しくは變更することがある。

一、本建築物の譲渡を受けたる者も前各號に命したる事項を遵守する義務を負ふこと。

◇鳥取縣告示第四十九號

健康保険法、國民健康保険法並びに船員保険法に基く保險醫である齒科醫上山松吉は昭和二十二年一月七日診療所を左記の通遷動した。

昭和二十二年二月十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

- 一、異動前診療所々所在地 鳥取縣鳥取市瓦町 秋山齒科醫院内
- 一、異動後診療所所在地 鳥取縣岩美郡宇倍野村宮下一九〇番地

◇鳥取縣告示第五十號

健康保険法、國民健康保険法並びに船員保険法に基く保險醫である齒科醫湖山淳は診療所を昭和二十二年十二月一日左記の通遷動した。

昭和二十二年二月十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

診療所異動前所在地 鳥取縣東伯郡長瀬村久留三十二番地

一、診療所異動後所在地 本院 鳥取縣氣高郡正條村勝見七十四番地

出張所 鳥取縣東伯郡長瀬村久留三十二番地 四十五番地

◇鳥取縣告示第五十一號

昭和二十二年一月三十一日の縣參事會において議決された昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加更正豫算昭和二十二年度特別會計慈善救済資金歳入歳出追加豫算昭和二十二年特別會計罹災救助基金歳入歳出追加更正豫算の要領は次の通りである。

昭和二十二年二月十二日

鳥取縣知事 吉 田 忠 一

第七六號(念施)

昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加更正豫算

歳入 △印減

鳥取縣告示 第十七百八十三號 昭和二十二年二月十二日 (第三種建築許可)

第一項 國庫稅	九六二、一六〇圓	經常部
第四項 地方分與稅	九六二、一六〇	
第五項 國庫支出金	六三五、八一五	
第六項 下渡金	三七〇、三二五	
第七項 補助金	二六五、五九〇	
第八項 雜收入	八〇三、〇〇〇	
第九項 雜入	八〇三、〇〇〇	
經常部計	二、四〇〇、九七五	
臨時部		
第二項 國庫支出金	一、五九六、五〇六	
第一項 補助金	五二、五九六、五四六	
第四項 寄附金	△三五、八二二	
第一項 寄附金	△三五、八二二	
第七項 縣債	一九、五三四、二八〇	
第一項 縣債	一九、五三四、二八〇	
臨時部計	六一、〇九五、〇一四	
歲入合計	六三、四九五、九八九	

第四項 警察費	四、五〇〇	經常部
第二項 警察費	四、五〇〇	
第六項 教育費	五八、八〇〇	
第七項 教育費	五八、八〇〇	
第三項 衛生費	二、八七〇	
第八項 衛生費	二、八七〇	
第一項 衛生費	二、八七〇	
第五項 厚生費	三、四四、五九八	
第九項 厚生費	一〇、五九八	
第一項 厚生費	一〇、五九八	
第八項 勸業費	三、三、〇〇〇	
第九項 勸業費	三、三、〇〇〇	
第一項 勸業費	三、三、〇〇〇	
第七項 勸業費	二、三〇〇	
第八項 勸業費	九〇〇	
第七項 地方振興費	一〇、〇〇〇	
第一項 地方振興費	一〇、〇〇〇	
經常部計	四、五二、九六八	
臨時部		

第一項 警察費	四七、五二五	經常部
第二項 警察費	四七、五二五	
第三項 土木費	六〇、二八〇、一五八	
第四項 土木費	六〇、二八〇、一五八	
第五項 土木費	二、一七〇、〇〇〇	
第六項 土木費	△一九七、一九九	
第七項 土木費	五八、二一六、三五七	
第八項 土木費	九二、一五四	
第九項 土木費	九二、一五四	
第十項 土木費	一五三、〇四〇	
第十一項 土木費	六、〇〇〇	
第十二項 土木費	八二、六〇〇	
第十三項 土木費	六三、四四〇	
第十四項 土木費	二、一九二、一四四	
第十五項 土木費	二、二〇、〇〇〇	
第十六項 土木費	九八一、一四四	
第十七項 土木費	六三、〇四三、〇二一	
第十八項 土木費	六三、四九五、九八九	
臨時部計		
歲出合計		

第一項 諸收入	八〇圓	經常部
第二項 諸收入	八〇	
第三項 諸收入	八〇	
第四項 諸收入	八〇	
歲入合計	八〇	
第一項 諸支出	八〇	
第二項 諸支出	八〇	
第三項 諸支出	八〇	
第四項 諸支出	八〇	
歲出合計	八〇	

昭和二十一年度特別會計慈惠救濟金歲入歲出追加豫算

昭和二十一年度特別會計慈惠救濟金
 歲入歲出追加豫算說明

追加	既定	改計	備考
豫算高	豫算高		
八〇	八〇八一	八、一六一	
八〇	八〇	〇	九〇
八〇	〇	〇	八〇
八〇	二七、三七一二七	四五一	

昭和二十一年度特別會計慈惠救濟金

昭和二十一年度特別會計慈惠救濟金

昭和二十一年度特別會計慈惠救濟金

五

歳出	追加既定改計備考	八〇二七、三七二七、四五二〇
第一項 雑費	八〇	八〇
第二項 雑支出	八〇	八〇
第一目 雑出	八〇	八〇
歳出合計		八〇二七、三七二七、四五二〇
昭和二十一年度特別會計罹災救助基金		
歳入歳出追加更正豫算		
第二項 繰越金		二二、五七八四
第一項 繰越金		二二、五七八四
歳入合計		二二、五七八四
第一項 罹災救助費		六八、七八六
第一項 救護費		六八、七八六
第五項 諸費		△四七、二〇八
第五項 冠者編入金		△四七、二〇八
歳出合計		二二、五七八四

鳥取縣告示第五十二號
東伯郡北谷村 福富耕増整理組合換地處分の件昭和二十二年二月五日認可した。
昭和二十二年二月十二日
鳥取縣知事 吉田 忠一

鳥取縣告示第五十三號
昭和二十一年八月鳥取縣令第五十六號鳥取縣青果物並びに加工品販賣業許可規則によりこれが業者を次のように許可した。
昭和二十二年二月十二日
鳥取縣知事 吉田 忠一

青果物加工並びに加工品販賣業者
番號 氏名 住所
四二六 濱橋 壽藏 氣高郡湖山村二二〇 加工品 小賣業

鳥取縣告示第五十四號
昭和二十二年二月二十一日の縣參事會においし議決され

昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加豫算、昭和二十一年度特別會計就學獎勵資金歳入歳出追加豫算の要領は次の通りである。

昭和二十二年二月十二日
鳥取縣知事 吉田 忠一

昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加豫算	歳入	五、六七四、四六〇
第一項 縣稅	一、〇六九、四七四	
第四項 地方分與稅	一、〇六九、四七四	
第四項 使用料及手数料	一、〇〇〇	
第二項 手数料	一、〇〇〇	
第五項 國庫支出金	九、一七〇、二七八	
第一項 下波金	三、二二五、八三三	
第二項 補助金	六、〇四四、四四五	
第六項 雜收入	五、一〇〇	
第三項 物品賣拂代	五、一〇〇	
經常部計	二〇、二九一、七五一	

第二項 國庫支出金	五、六七四、四六〇
第一項 補助金	五、六七四、四六〇
第四款 寄附金	五、六七四、四六〇
第一項 寄附金	五、六七四、四六〇
第七款 縣債	一、〇六九、四七四
第一項 縣債	一、〇六九、四七四
臨時部計	六、三三三、四六〇
歳入合計	一六、六六六、二二二
第二項 會議費	八〇〇
第二項 縣參事會費	八〇〇
第四款 警察費	一四九、三九三
第二項 廳費	一三九、三九三
第六款 教育費	二八、六六〇
第六項 教育費	二八、六六〇
第七款 衛生費	二二〇、六五〇

鳥取縣公報 第七百八十三號 昭和二十二年三月十三日

第一項 豫防費	一三三、〇〇〇	第四款 勸業費	三五九、二五三
第二項 病除費	一、九七八、六五〇	第四項 水産業費	一四、〇七〇
第八款 厚生費	二、六九一、二四〇	第五項 畜産業費	一一四、〇〇〇
第一項 保護救護費	五八一、四六〇	第六項 商工業費	一六、〇〇〇
第五項 厚生諸費	二、一〇九、七八〇	第七項 農業土木費	四、五、三四三
第九款 勸業費	三、四〇七、〇八〇	第八項 勸業諸費	八九、八〇〇
第二項 蠶業費	七二、四三〇	第六款 開拓費	八〇〇、〇〇〇
第八項 勸業諸費	三、三三四、六五〇	第一項 開拓事業費	八〇〇、〇〇〇
第十二款 選舉費	三、四、四三六	第八款 諸費	七、五七五、二二〇
第一項 選舉費	三、四、四三六	第一項 諸費	七、〇〇〇
第十三款 諸費	一〇、〇〇〇	第二項 職員給與改善費	七、五六八、二二〇
第四項 財産費	一〇、〇〇〇	(舊職員給與制度改善費を職員給與改善費に改める)	
經常部計	六、五二六、四五八	臨時部計	一〇、〇八九、七五二
第一類 警察費	一、三三五、七三〇	歳出合計	一六、六一六、二二〇
第一項 警察費	一、三三五、七三〇	昭和二十一年年度特別會計就學獎勵資金歳入歳出追加豫算	
第三款 教育費	二、九、六〇〇	第一機 購収費	一六、六六〇
第一項 高等女學校費	二、九、六〇〇	第三項 一般會計補助金	六、六六〇

第二款 國庫支出金	六、二〇〇	第三款 委員會は會長一名 副會長一名 委員若干名を以て之を組織する。
第一項 國庫交付金	六、二〇〇	第四條 會長は知事、副會長は土木部長を之に充て、委員は知事之を任命又は委嘱する。
歳入合計	一一、八六〇	第五條 會長は會務を總理する。
第二款 學校給食臨時施設費	一一、八六〇	副會長は會長を補佐し會長事故あるときは之を代理する。
第一項 學校給食臨時施設費	一一、八六〇	會長、副會長共に事故あるときは會長の指名する委員に於て之を代理する。
歳出合計	一一、八六〇	第六條 委員會は會長之を招集する。
鳥取縣告示第五十五號		第七條 委員會に附議決定を要する事項と雖も工事費の比較的僅少なるときは書面審理又は事後承認の方法により決議に代ふることが出来る。
鳥取縣進駐軍關係工事費査定委員會規程を左の通り定める		第八條 委員會に幹事若干名及び書記若干名を置き知事之を任免する。幹事及書記は會長の命を承けて庶務に従事する。
昭和二十二年二月十二日		附則
鳥取縣知事 吉田 忠一		この規程は昭和二十二年一月十日よりこれを適用する。

鳥取縣公報 第七百八十三號 昭和二十二年二月十二日 (第三種郵便物認可) 九